



DN-1000R (警子ちゃん II) 及び DN-1000S (警子ちゃんミニ) と Systemwalker との連携

～ イベント発生時にランプやブザーを ON にする ～

Systemwalker にてイベント (トラップ) が発生したときに実行する自動**アクション**コマンドの設定方法について説明します。

前提条件

- DN-1000 設定ツール内「コマンドアクセス設定」ページにて「ユーザ名:」に **SYSTEM** を登録しておきます。



ユーザ名: 5 SYSTEM

- 警子ちゃん II 及び警子ちゃんミニを動作させる為のバッチファイルを任意の場所に作成しておきます。

バッチファイル内容

例 1) 赤ランプを点灯させ、ブザー (連続音) 鳴動させる

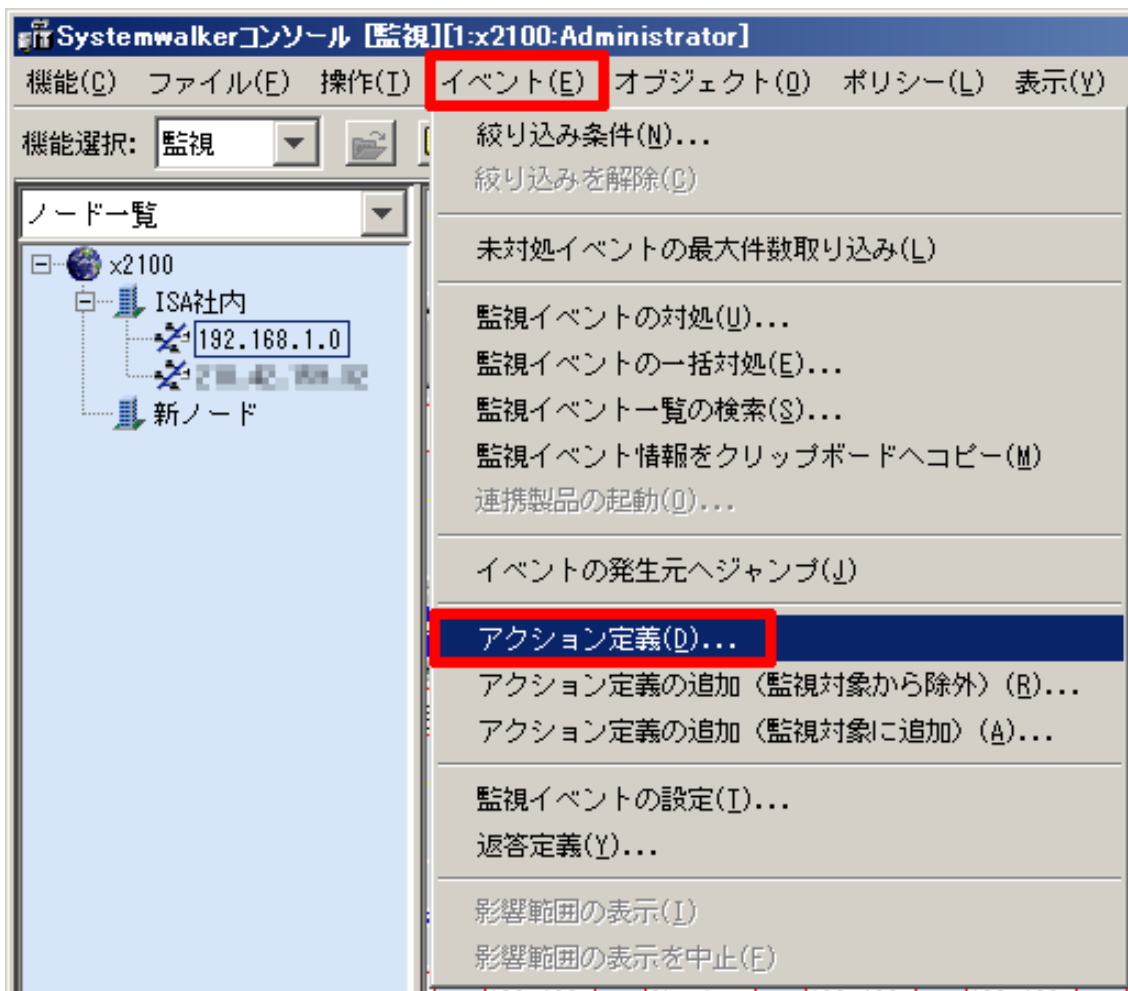
```
rsh 192.168.1.1 -n ACOP 10010000
```

例 2) 黄色ランプを点滅させ、20 秒後に消灯させる

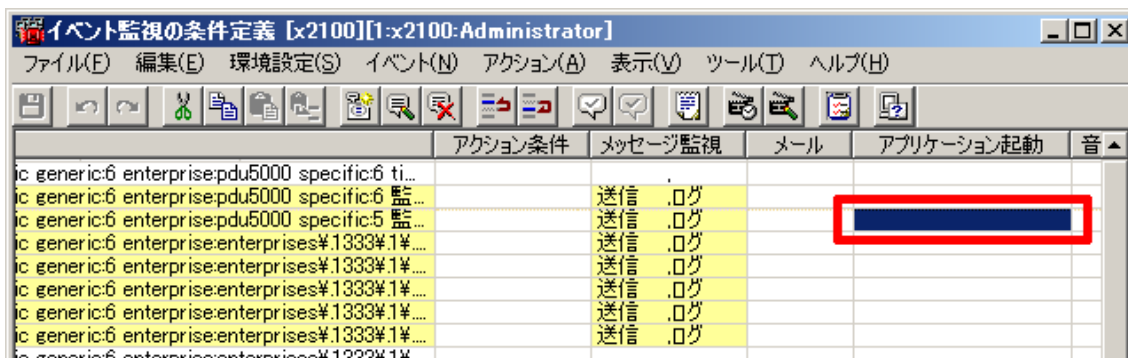
```
rsh 192.168.1.1 -n RLY2 TurnOn -t 20
```

Windows 環境での Systemwalker CentricManager v13.3.0 の設定

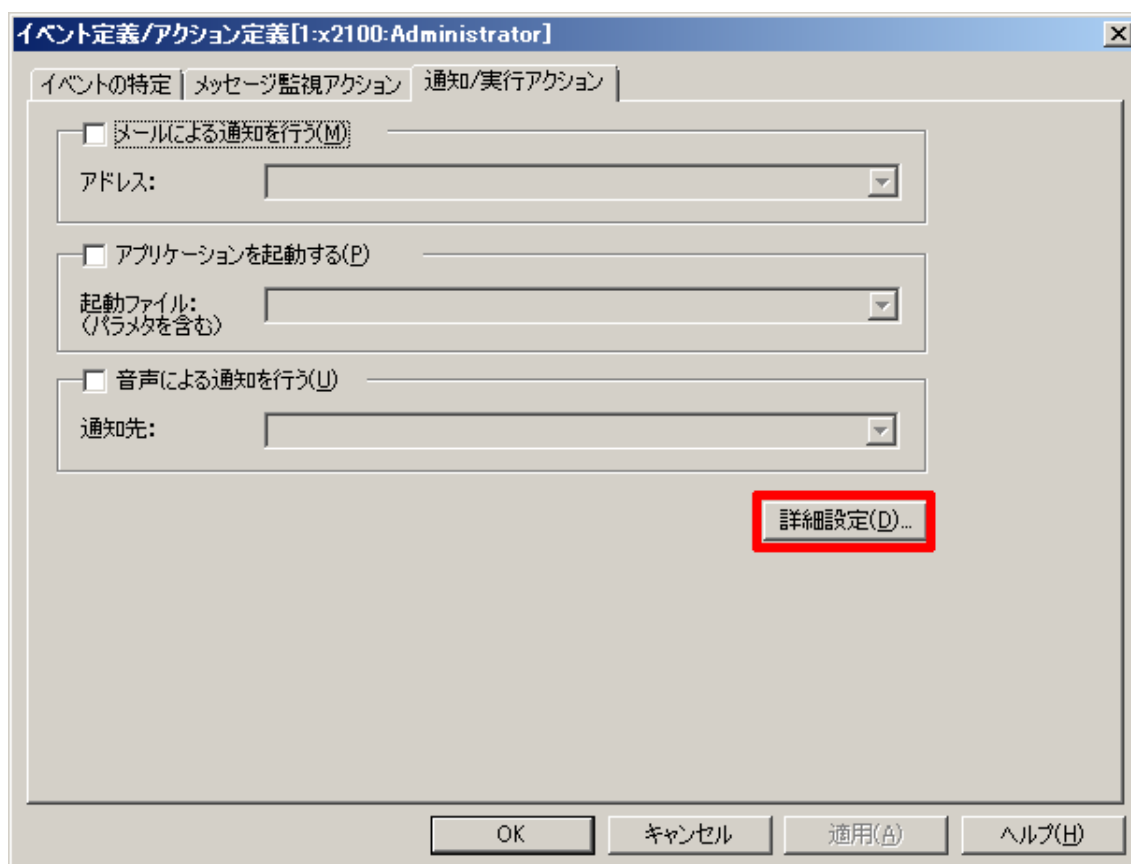
- (1) 「Systemwalker コンソール」のメニューから「イベント」 - 「アクション定義」をクリックします。



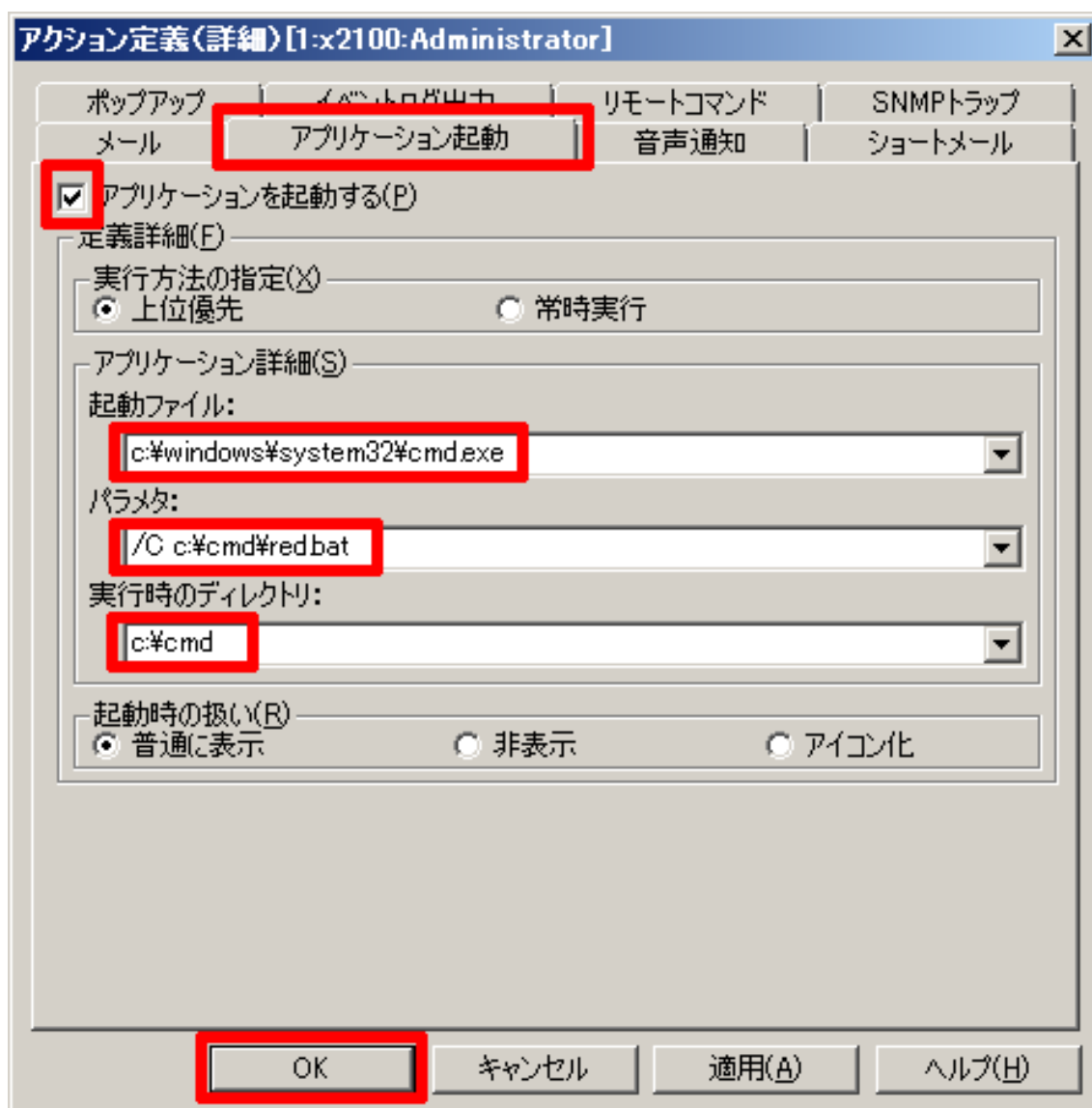
- (2) 「イベント監視の条件定義」のウィンドウが起動したら、任意のイベントに対応した「アプリケーション起動」(赤枠内)をダブルクリックします。



(3) 「イベント定義 / アクション定義」のウィンドウが起動したら、「詳細設定」のボタンを押下します。



(4) 「アクション定義 (詳細)」のウィンドウが起動したら、「アプリケーション起動」タブをクリックし、各項目の設定を行います。



「アプリケーションを起動する」: チェックを入れます。

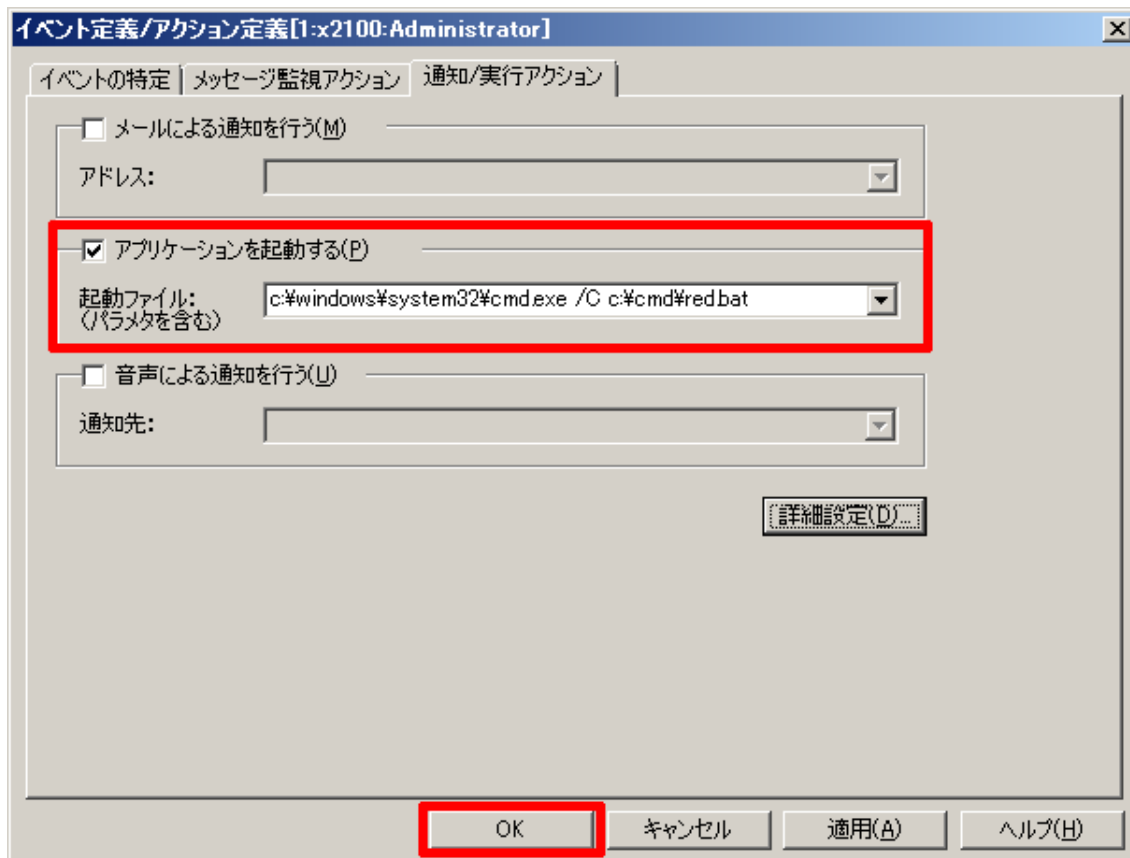
「起動ファイル」: cmd.exe をフルパス指定します。

「パラメタ」: " /C (バッチファイル名をフルパス指定) " という形式でコマンドを記述したファイルを指定します。

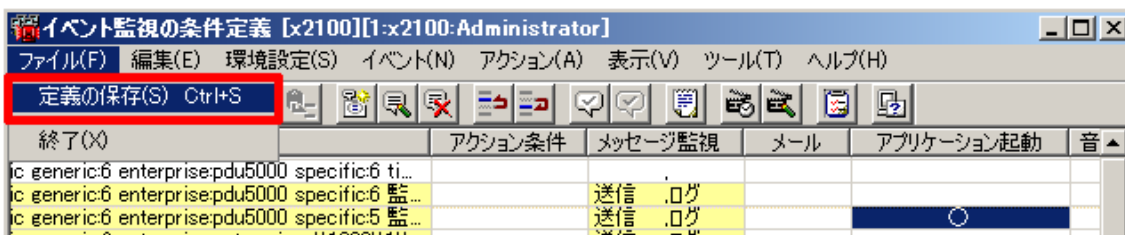
「実行時のディレクトリ」: 任意の場所を指定します。

上記の指定が完了したら「OK」ボタンを押下します。

(5)再び「イベント定義/アクション定義」のウィンドウが表示されたら、設定が反映されていることを確認します。設定が正しければ「OK」ボタンを押下して、ウィンドウを閉じます。



(6)「イベント監視の条件定義」のウィンドウで「ファイル」 - 「定義の保存」をクリックして、設定を保存します。



以上